

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 4 日	
高槻市長 殿	
提出者	
〒532-0011	
住所 大阪府大阪市淀川区西中島1丁目11番16号	
氏名 井上工業株式会社	
代表取締役 武田 要	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 06-6309-8711	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	井上工業株式会社
事業場の所在地	大阪府大阪市淀川区西中島1丁目11番16号
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合建設業
②事業の規模	令和6年度 完工高 3,215百万円
③従業員数	35人（令和7年3月31日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1 処理工程図のとおり

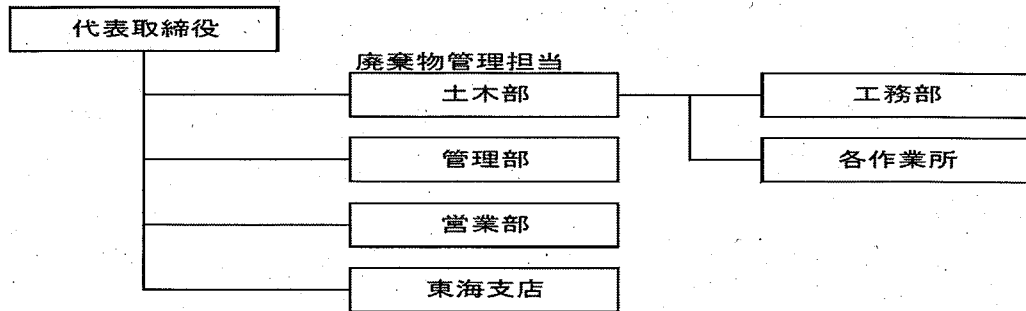
収	受
令和	-7.6.-4
高市資第	号
本	高槻市

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

廃棄物処理に関する管理体制



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排出量	2.87 t	0.62 t
	（これまでに実施した取組） ・がれき類（コンクリート塊、アスファルト塊）、木くず、廃プラ、紙屑は分別。 ・排出量削減に配慮した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排出量	0.00 t	0.00 t
	（今後実施する予定の取組） ・現在のところ実施予定なし。 ※ 令和6年度内に工事が完了し作業所は撤去したため。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 国土交通省で定義する建設廃棄物の分類について、各作業所で可能な限り分別を実施し、産業廃棄物発生量の総量の削減を目指している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の取り組みを継続する。 ※ 新規作業所を設置した場合に限る。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

紙くず	木くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊
0.3 t	4174.5 t	29.24 t	421.7 t

②計画

紙くず	木くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

その他がれき類	建設混合廃棄物(管理型)		
192.4 t	3.4 t	t	t

②計画

その他がれき類	建設混合廃棄物(管理型)		
0.00 t	0.00 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施しない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施しない。		

(第4面-1)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施しない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	2.87 t	0.62 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	電子マニフェストシステムに対応している収集・運搬、中間処理業者に優先的に委託した。		

(第4面-2)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

紙くず	木くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊
0.30 t	4174.50 t	29.24 t	421.70 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

(第4面-3)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

その他がれき類	建設混合廃棄物(管理型)		
192.40 t	3.40 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・委託先処理業者には現地確認を実施する。		
※事務処理欄			

(第5面－2)

②計画

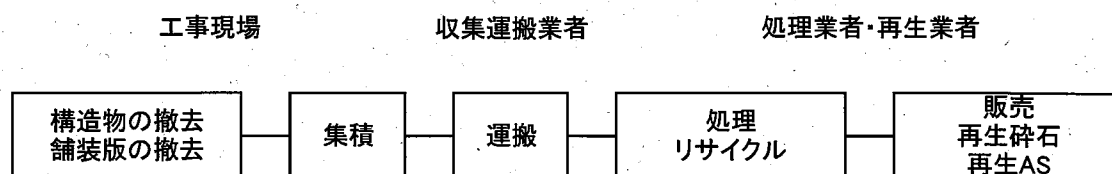
紙くず	木くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊
0 t	0 t	0 t	0 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画

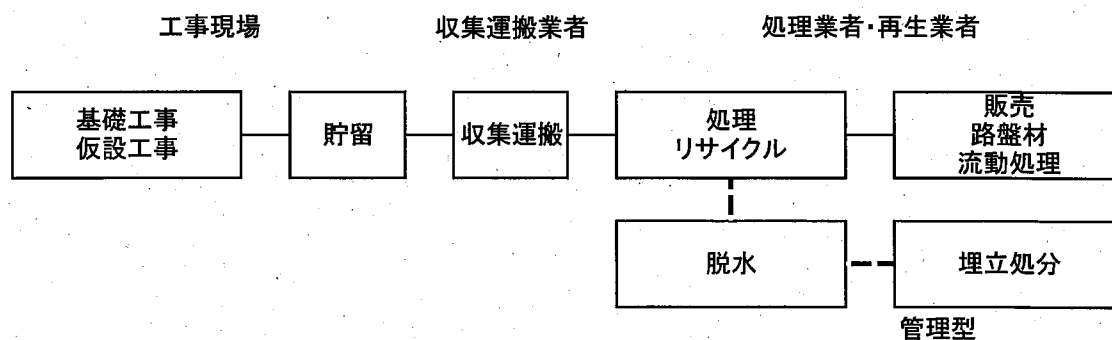
その他がれき類	建設混合廃棄物(管理型)		
0.00 t	0.00 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t

別添1 処理工程図

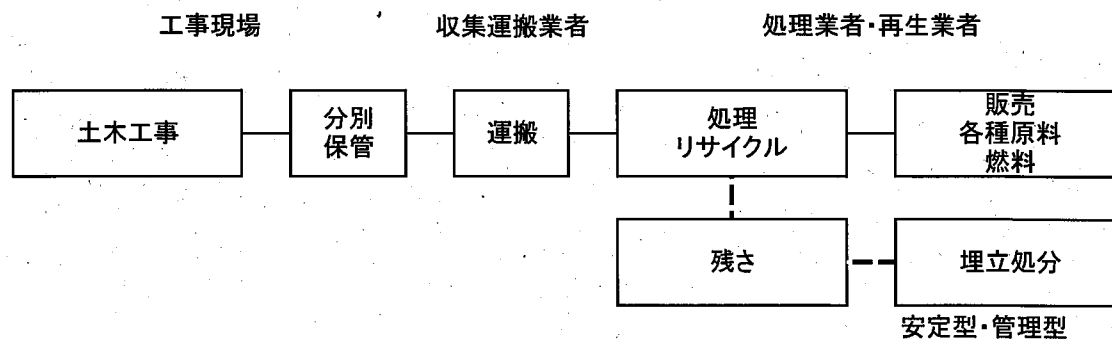
1.がれき類



2.汚泥



3.その他(木くず、廃プラスチック類、金属くず等)



前 年 度 【 6 年 度 】 実 績

出 発 者						
姓 名	名 義	就 業 科 目	就 業 専 攻	電 話 番 号	FAX	電子メールアドレス

[illegible]

(注1) トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【7年度】目標

送 出 者						
姓 名	職 務	職 務 部 門	職 務 名 義	電 話 番 号	FAX	電 子 メ ー ル ア ド レ ス

品名・数量の記載		計 画 的 買 入 数										計 画 的 買 入 価 格										計 画 的 買 入 金 額										
		1. 計 画 的 買 入 数	2. 計 画 的 買 入 数	3. 計 画 的 買 入 数	4. 計 画 的 買 入 数	5. 計 画 的 買 入 数	6. 計 画 的 買 入 数	7. 計 画 的 買 入 数	8. 計 画 的 買 入 数	9. 計 画 的 買 入 数	10. 計 画 的 買 入 数	11. 計 画 的 買 入 数	12. 計 画 的 買 入 数	13. 計 画 的 買 入 数	14. 計 画 的 買 入 数	15. 計 画 的 買 入 数	16. 計 画 的 買 入 数	17. 計 画 的 買 入 数	18. 計 画 的 買 入 数	19. 計 画 的 買 入 数	20. 計 画 的 買 入 数	21. 計 画 的 買 入 数	22. 計 画 的 買 入 数	23. 計 画 的 買 入 数	24. 計 画 的 買 入 数	25. 計 画 的 買 入 数	26. 計 画 的 買 入 数	27. 計 画 的 買 入 数	28. 計 画 的 買 入 数	29. 計 画 的 買 入 数	30. 計 画 的 買 入 数	
コード	品 名																															
100	事業用資材の仕入れ	0.00																														
200	汚泥	0.00																														
300	保プラステック	0.00																														
400	紙くず	0.00																														
500	木くず	0.00																														
600	コンクリート塊	0.00																														
700	アスファルト・コンクリート塊	0.00																														
800	その他がれき類	0.00																														
900	建設資材廃棄物(管理費)	0.00																														
1000																																
1100																																
1200																																
1300																																
1400																																
1500																																
1600																																
1700																																
1800																																
1900																																
2000																																
2100																																
2200																																
2300																																
2400																																
2500																																
2600																																
2700																																
2800																																
2900																																
3000																																
3100																																
3200																																
3300																																
3400																																
3500																																
3600																																
3700																																
3800																																
3900																																
4000																																
4100																																
4200																																
4300																																
4400																																
4500																																
4600																																
4700																																
4800																																
4900																																
5000																																
5100																																
5200																																
5300																																
5400																																
5500																																
5600																																
5700																																
5800																																
5900																																
6000																																
6100																																
6200																																
6300																																
6400																																
6500																																
6600																																
6700																																
6800																																
6900																																
7000																																
7100																																
7200																																
7300																																
7400																																
7500																																
7600																																
7700																																
7800																																
7900																																
8000																																
8100																																
8200																																

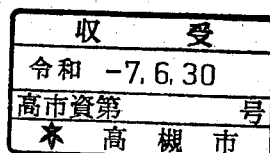
(注)1) 1000未満は1000として四捨五入、1000以上は1000未満の整数に四捨五入。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
2025年 6月 30日	
(宛先) 高槻市長	
提出者 住 所 大阪府高槻市今城町25-3 氏 名 株式会社エーアンドエー大阪 代表取締役 松井 晃介 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 072-685-1928	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社エーアンドエー大阪
事業場の所在地	大阪府高槻市今城町25-3
計画期間	2025年4月1日から2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	21：窯業・土石製品製造業
②事業の規模	2,993百万円
③従業員数	95名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①の通り

(日本産業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙②の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排 出 量	15.27 t	16.08 t
	(これまでに実施した取組) 毎月の会議体で排出量を確認し、情報の共有や指示などが実施できる社内組織を整備している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排 出 量	15.12 t	15.92 t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組を維持する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 陶磁器くず(2種類)、石綿含有陶磁器くず、廃プラスチック類、木くず、ガラスくず、無機性汚泥、廃油、蛍光灯、水銀灯はそれぞれに分類し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の分別を維持する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

陶磁器くず①	陶磁器くず②	金属くず	陶磁器くず③
110.51 t	227 t	0.66 t	39.5 t

②計画

陶磁器くず①	陶磁器くず②	金属くず	陶磁器くず③
109.4 t	224.73 t	0.65 t	39.11 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

無機性汚泥①	無機性汚泥②	廃油	
3 t	11.9 t	11 t	t

②計画

無機性汚泥①	無機性汚泥②	廃油	
2.97 t	11.78 t	10.89 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	4814.71 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	4862.86 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全 処 理 委 託 量	15.27 t	16.08 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	15.27 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	16.08 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

陶磁器くず①	陶磁器くず②	金属くず	陶磁器くず③
110.51 t	227 t	0.66 t	39.5 t
110.51 t	227 t	0.66 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

無機性汚泥①	無機性汚泥②	廃油	
3 t	11.9 t	11 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
3 t	11.9 t	11 t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全 処 理 委 託 量	15.12 t	15.92 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	15.12 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	15.92 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

②計画

陶磁器くず①	陶磁器くず②	金属くず	陶磁器くず③
109.4 t	224.73 t	0.65 t	39.11 t
109.4 t	224.73 t	0.65 t	39.11 t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

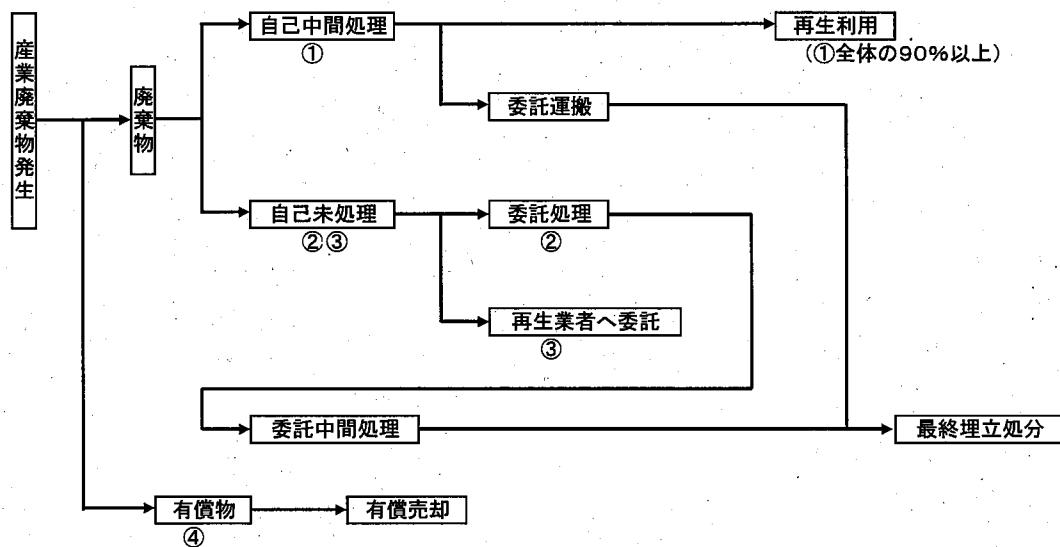
②計画

無機性汚泥①	無機性汚泥②	廃油	
2.97 t	11.78 t	10.89 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
2.97 t	11.78 t	10.89 t	t

別紙①

産業廃棄物処理工程フローシート

㈱エーアンドエー大阪

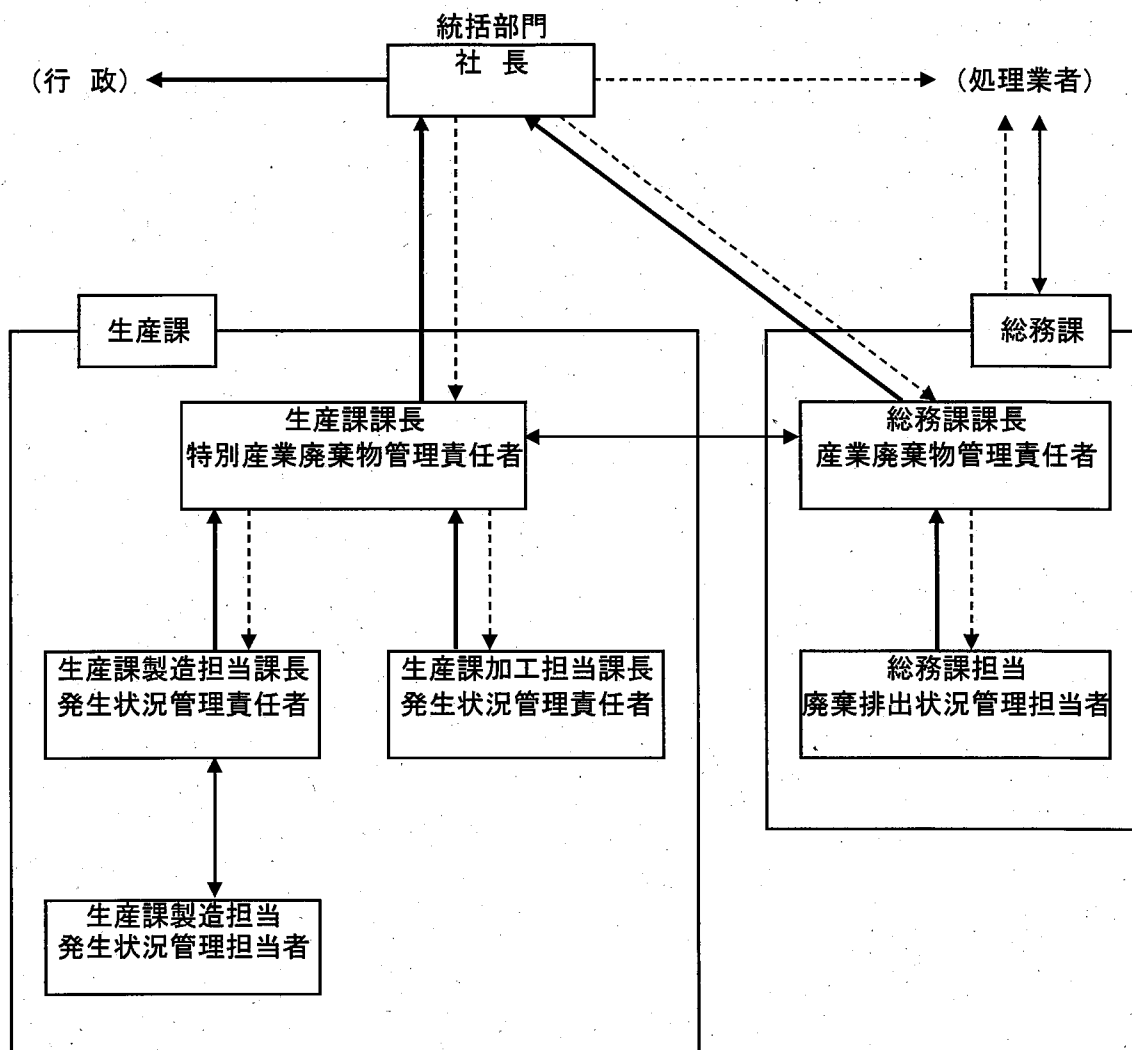


○発生産業廃棄物品目

- ①陶磁器屑
- ②汚泥
- ③木屑
- ④廃油

別紙②

社内組織図及び各部署の役割
〔社内組織図〕



————→ 報 告

-----→ 指 示

←————→ 相互連絡

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月30日

高槻市長 殿

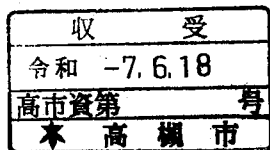
提出者

住 所 大阪府大阪市此花区伝法4丁目3番59号

氏 名 鳳工業株式会社 代表取締役社長 齊藤 伸一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6464-6873



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鳳工業株式会社 建設工事部
事業場の所在地	大阪府大阪市此花区伝法4丁目3番7号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	1,500,000千円
③従業員数	20名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・道路建設工事（舗装工事） がれき類（アスファルト・コンクリート塊） →再生処理業者に委託して再生骨材として再資源化

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図) ・別紙管理体制図のとおり				
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート塊	
	排出量	2310.51 t	15.6 t	
(これまでに実施した取組) ・工法の改善				
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ファルト・コンクリー	コンクリート塊	
	排出量	2400 t	20 t	
(今後実施する予定の取組) ・引続き発注者の支持の範囲内で工法の改善、排出抑制、減量に取り組む				
産業廃棄物の分別に関する事項				
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類に他の廃棄物が混入しない様に分別、保管を実施			
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引続きがれき類に他の廃棄物が混入しない様に確実に分別、保管を実施する			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
	その他のがれき類	1 t	- t	- t
【目標】				
	その他のがれき類	-	-	-
	10 t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（令和6年度）実績】				【前年度（令和6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート塊	その他のがれき類	—	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない						
②計画	【目標】			【目標】			
	産業廃棄物の種類	ファルト・コンクリート	コンクリート塊	その他のがれき類	—	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（令和6年度）実績】				【前年度（令和6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート塊	その他のがれき類	—	—	—
	全処理委託量	2310.51 t	15.6 t	1 t	— t	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	2311 t	16 t	1 t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している							

(

集計用シート 前年度(6 年度)実績

(注1)ン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

事業活動の状況		出 入										計	
コード	事業活動の状況	①事業活動の収入	②事業活動の支出	③事業活動の収入	④事業活動の支出	⑤事業活動の収入	⑥事業活動の支出	⑦事業活動の収入	⑧事業活動の支出	⑨事業活動の収入	⑩事業活動の支出	⑪事業活動の収入	⑫事業活動の支出
1	1502 アスファルト・コンクリート塊	2311	0	0	0	2311	0	0	0	2311	0	0	0
2	1501 コンクリート塊	16	0	0	0	16	0	0	0	16	0	0	0
3	1500 その他のがれき類	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
4			0	0	0		0	0	0		0	0	0
5			0	0	0		0	0	0		0	0	0
6			0	0	0		0	0	0		0	0	0
7			0	0	0		0	0	0		0	0	0
8			0	0	0		0	0	0		0	0	0
9			0	0	0		0	0	0		0	0	0
10			0	0	0		0	0	0		0	0	0
11			0	0	0		0	0	0		0	0	0
12			0	0	0		0	0	0		0	0	0
13			0	0	0		0	0	0		0	0	0
14			0	0	0		0	0	0		0	0	0
15			0	0	0		0	0	0		0	0	0
16			0	0	0		0	0	0		0	0	0
17			0	0	0		0	0	0		0	0	0
18			0	0	0		0	0	0		0	0	0
19			0	0	0		0	0	0		0	0	0
20			0	0	0		0	0	0		0	0	0
合計		2327	0	0	0	2327	0	0	0	2327	0	0	0

提 出 者	姓 名	株 数	担 割 股 数	担 割 金 額	電 子 メール アドレス	FAX

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 3 0 日

高槻市長 殿

提出者

住 所 大阪市中央区北浜3-5-29日本生命淀屋橋ビル

氏 名 株式会社大林組大阪本店

副社長執行役員大阪本店長 川上 宏伸

電話番号 06-7632-8714

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

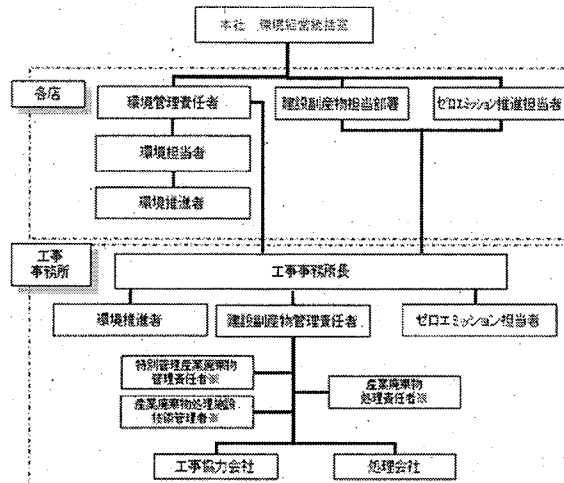
事業場の名称	株式会社大林組大阪本店 高槻市管轄区域内事業場
事業場の所在地	高槻市管轄区域内
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	2, 116 百万円
③従業員数	2, 244 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR A[施工・発生] --> B[保管] B --> C[収集運搬] C --> D[中間処理 (再生・縮減)] D --> E[最終処分] D --> F[再生品] </pre>

収	受
令和	-7.6.30
高市資第	号
＊高槻市	

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	排出量	
	（これまでに実施した取組） ①新築建築工事の建設廃棄物総排出量の目標値設定 ②産業廃棄物の削減方法 ・ 施工方法の検討による廃棄物の削減（鋼製型枠材の使用等） ・ 梱包材の削減（メーカーへの簡易梱包依頼等）	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	排出量	
	（今後実施する予定の取組） ①新築建築工事の建設廃棄物総排出量の目標値設定 ②産業廃棄物の削減方法 ・ 施工方法の検討による廃棄物の削減（鋼製型枠材の使用等） ・ 梱包材の削減（メーカーへの簡易梱包依頼等）	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の目標値を設定し、混合廃棄物の排出量を低減することにより分別を促進する。 ②コンクリート塊、アスファルト塊、木くず、廃プラ、石綿含有建材等
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の目標値を設定し、混合廃棄物の排出量を低減することにより分別を促進する。 ②コンクリート塊、アスファルト塊、木くず、廃プラ、石綿含有建材等

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	（これまでに実施した取組） 該当なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	（今後実施する予定の取組） 該当なし	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
	（これまでに実施した取組） 該当なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
	（今後実施する予定の取組） 該当なし	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	
	（これまでに実施した取組） 該当なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	
	（今後実施する予定の取組） 該当なし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者	
	（これまでに実施した取組） ①リサイクル率の目標値設定 ②ゼロエミッション活動の推進 ③再資源化ルートの確立 ④優良認定処理業者の選定 ⑤広域再生指定を受けているメーカーとの契約（石膏ボード等）	

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	全処理委託量	
	優良認定処理業者 への処理委託量	
	再生利用業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者 への処理委託量	
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業 者の処理委託量	
(今後実施する予定の取組) ①リサイクル率の目標値設定 ②ゼロエミッション活動の推進 ③再資源化ルートの確立 ④優良認定処理業者の選定 ⑤広域再生指定を受けているメーカーとの契約 (石膏ボード等)		
※事務処理欄		

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和6年度)実績量

計画：今年度(令和7年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自らの再生利用に関する事項		自らの中間処理に関する事項		自らの焼却又は海洋投 入処分を行う産業廃棄物の 量		全処理委託量		優良認定処理業者への 処理委託量		再生利用業者への 処理委託量		認定熱回収業者への 処理委託量		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処理委 託量	
	排出量	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
①汚泥	2,189.34	2,100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,189.34	2,100.00	0.00	0.00	2,189.34	2,100.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②廃プラスチック 類	13.30	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	13.30	10.00	13.30	10.00	10.24	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③紙くず	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④木くず	30.60	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	30.60	30.00	30.60	30.00	28.34	28.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑤ガラスくず等	74.10	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	74.10	70.00	74.10	70.00	23.10	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑥がれき類	1,090.60	1,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,090.60	1,000.00	173.10	170.00	1,083.60	993.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑦建設系混合廃 棄物	116.52	110.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	116.52	110.00	116.52	110.00	94.38	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑧小断片状産業 廃棄物(照明機 器)	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.23	0.00	0.23	0.00	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑨廃電池類	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	3,514.91	3,320.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3,514.91	3,320.00	408.07	390.00	3,429.44	3,238.00	0.00	0.00	0.00	0.00

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 9日

高槻市長 殿

収	受
令和	-7.6.12
高市資第	号
＊高槻市	

提出者

住 所 大阪府高槻市萩之庄3-1-3

氏 名 クラシエ株式会社 高槻第二工場

工場長 平 茂

電話番号 072-669-6121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	クラシエ株式会社 高槻第二工場
事業場の所在地	大阪府高槻市萩之庄3-1-3
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	32 : その他の製造業
②事業の規模	製造品出荷額 : 320,034 万円
③従業員数	85名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

③ 現状

【前年度（2024年度）実績】

産業廃棄物の種類

廃プラスチック類C全域

排出量

20.7 t

t

(これまでに実施した取組)

廃プラスチック類について生産量増産に伴い、増加している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

廃プラスチック類C全域

排出量

18.0 t

t

(今後実施する予定の取組)

廃棄物の再利用率向上を目指します。
埋立処分ゼロを目指します。
減産の計画があり減少する見込み。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
動植物性残渣、廃プラスチック類、その他廃棄物はそれぞれ分別保管している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
会社方針として、埋立処分ゼロを目標に分別強化や処分先の見直しを進める。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

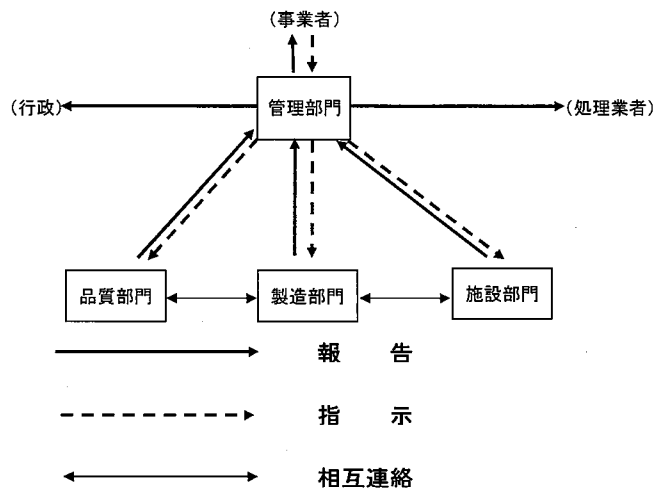
① 現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣 A工程	廃プラスチック類 B工程
	全処理委託量	3004.2 t	0.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	176.6 t	t
	再生利用業者への処理委託量	3004.2 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	0.9 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 工場内で物を購入するときは、エコマークの付いたものなど環境に配慮したものを買うよう推進。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣 A工程	廃プラスチック類 B工程
	全処理委託量	3000.0 t	1.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3000.0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	1.0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物の再利用率向上を目指し、分別の徹底に取り組む。 工場内で物を購入するときは、エコマークの付いたものなど環境に配慮したものを買うよう更に推進する。		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

添付資料 管理体制図及び各部署の役割
〔管理体制図〕



〔各部署の役割〕

部 署	役 割
A 管理部門	- 産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理 - 産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 - 行政に対する報告等 - 処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理 - 産業廃棄物の適正管理及び減量化及び分別等に関する社内啓発 - 各部署間の調整及び指示 - 廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施
B 製造部門	- 当該部門における産業廃棄物処理委託伝票(マニフェスト)管理 - 産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 - 各現場の施設の維持管理点検等 - 各現場における分別状況の徹底・確認 - 上記内容をAに報告
C 品質部門	- 当該部門における産業廃棄物処理委託伝票(マニフェスト)管理 - 産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 - 各現場における分別状況の徹底・確認 - 上記内容をAに報告
D 施設部門	- 産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 - 各現場における分別状況の徹底・確認 - 上記内容をAに報告

〔産業廃棄物発生工程フロー〕

